

2014年度 事業報告書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会

1 事業の成果

1) 厚生労働科学研究費補助による在日アフリカ人を対象とした保健医療分野、HIV対策研究事業、2) アフリカンキッズクラブ、3) 地球環境基金の助成によるポスト2015地球規模課題に関するNGOネットワークによるアドボカシー活動、4) ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) をテーマとした外務省NGO研究会、5) イオン環境財団の助成金によるコンゴ共和国での熱帯林調査事業、6) ウェブサイト・会報等を活用したアフリカが直面する課題、特に国際保健、食料安全保障、アフリカ熱帯林の課題、アフリカ子ども学に関わる情報発信、セミナー開催ほかの取り組みを実施した。それぞれの活動に関する報告書、ウェブサイトでの情報発信は多くの人に参照され、他のNGOや国際協力機関の活動に反映された。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
アフリカ支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 在日アフリカ人コミュニティ、日本のNGOや保健医療関係者と連携し、在日アフリカ人の保健対策、HIV検査・治療および生活支援等の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・在日アフリカ人の保健医療へのアクセスとニーズに関する調査をパイロット的に実施した。 ・在日アフリカ人のHIV陽性者への支援を他団体と連携して行った。 ○ アフリカンキッズクラブ、在日アフリカ人の生活を考える会に関わる事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・12月に拓殖大学アフリカ研究愛好会企画のイベントを、3月には動物園企画（横浜市立金沢動物園）を実施した。 ・8月に奥多摩での一泊二日のサマーキャンプを実施した。 ・5月に、アフリカ料理を作って食べる会を開催した。 ・アフリカからの留学生向けリーフレットを作成した。 	2014年4月1日～2015年3月31日	主として東京都内	20人	全国のエイズ拠点病院へ手引が配布されている。 在日アフリカ人家族、在日アフリカ人に関心をもつ人びとの間の交流が進んだ。	3,052

<p>ネットワーク形成事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ JANIC、GII/IDI・NGO連絡会、NGO・労組協働フォーラム、CSR推進NGOネットワークの会員として活動に参加し、また児童労働反対キャンペーンほかに参加した。 ・4月にメーデー、12月に世界エイズデー・シンポジウムに参加した。 ○ ポスト2015の課題に関するNGOの提言活動につながる環境・開発セミナー、学習会等を開催し、また、アフリカのNGOとTICAD等の機会にポスト2015に関わるアドボカシーを進めるための戦略会合をウガンダで行った。 ○ ユニバーサル・ヘルス・カバレッジをテーマとした外務省NGO研究会を実施し、NGO向けハンドブックを作成・配布した。 ○ アフリカに関わるNGOデータベースを公開、更新し、NGO同士の連携、国際協力機関とNGOの関係強化に寄与した。 ○ アフリカで活動するNGOに関する個人・企業・財団・学校等からの問い合わせ・相談に応じ、個人・企業・財団・学校等とNGOとの間の関係強化に寄与した。 	<p>2014年4月1日～2014年5月31日</p>	<p>主として東京都内、京都、大阪、高知、北海道ほかへスタッフを派遣</p>	<p>10人</p>	<p>NGO研究会を踏まえて作成したUHCハンドブックを関係団体に配布。同ハンドブックは、外務省ウェブサイトで公開されている。</p>	<p>7,275</p>
-------------------	--	-----------------------------	--	------------	---	--------------

<p>アフリカ調査・研究事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ (特活)ハンガー・フリー・ワールド、(特活)日本国際ボランティアセンター(JVC)、オックスファム・ジャパン(OJ)および明治学院大学国際平和研究所(PRIME)とともに、10月、11月、12月、3月に計4回、家族農業をテーマに連続公開セミナー「食べものの危機を考える」を開催した。 ○ 2013年度に実施したセミナー「食べものの危機を考える」をもとに作成した冊子『飢餓を考えるヒントNo.6 農業投資を考える』を会員、協力者、研究機関等に配布した。 ○ 「世界食料デー」月間の取り組みに参加し、7月にWE21と世界食料デー月間2014イベント「日本の食卓とつながるプロサバナ事業—経済開発の名の下に壊される農民の暮らし—」を開催した。 ○ イオン環境財団の助成を受けて、「河川漁撈による地域経済振興と象牙利用の実際に関する研修を通じたコンゴ共和国世界遺産地域における絶滅危惧種マルミソウの実践的保全戦略の構築」の調査事業を行った。 ○ アフリカ熱帯林の課題に関わる情報発信・集積を進めた。 ○ メールマガジン「グローバル・エイズ・アップデート」を定期発行した(244~268号)。 ○ アフリカ子ども学研究会に関わる取り組みを行った。 	<p>2014年4月1日~2015年3月31日</p>	<p>明治学院大学、かながわ県民センター、コンゴ共和国</p>	<p>30人</p>	<p>セミナーに延べ130人が参加 メールマガジンの読者は1300人 メールマガジンの内容はウェブサイトでも公開されており、多数の人が参照している</p>	<p>650</p>
--------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	------------	---	------------

<p>政策提言事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「動く→動かす」事務局として、MDGs達成に向けたNGOによるアドボカシー活動を担った。 ○ 市民ネットワーク for TICADの世話人団体として、TICADVフォローアップ、TICAD VIに向けたアドボカシー活動に参加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・5月にカメルーンで開かれたTICAD閣僚会議に対する取り組みを行った。 ・2月にウガンダで、ポスト2015の課題を含め、アフリカと日本のNGOの連携を進めるための戦略会合を準備し、参加した。 ○ 他のNGOとともに、世界エイズ・結核・マラリア対策基金の強化を目指すアドボカシーを行った。 ○ モザンビーク・プロサバンナ事業に関するモザンビーク農民組織・市民組織の声を日本に伝え、外務省との意見交換会などを通して事業の課題を明らかにする活動に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度に2回開かれたプロサバンナ事業に関する外務省との意見交換会への参加、他団体や国会議員と連携しての政策提言を行った。 ・他団体とともに8月に現地調査を実施し、10月に報告会を開催した。 	<p>2014年4月1日～2015年3月31日</p>	<p>主として東京都内カメルーンにスタッフを派遣</p>	<p>20人</p>	<p>事務局を務めるNGOネットワーク「動く→動かす」には70団体が参加 「市民ネットワーク for TICAD」世話人を努める プロサバンナ事業に関する情報提供を継続して行っている</p>	<p>1,265</p>
<p>アフリカ理解促進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会報「アフリカNOW」第101号を発行した。 ○ メールマガジン「AFRICA ON LINE」を定期発行した（745～79号）。 ○ グローバルフェスタ2014に参加し、アフリカに関心を持つ人のネットワークを拡大した。 	<p>2014年4月1日～2015年3月31日</p>	<p>主として東京都内</p>	<p>15人</p>	<p>会報の発行数700部 メールマガジン購読者2,200人</p>	<p>180</p>

(2) その他の事業 なし

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額(千円)